青翔だより第５３号

平成２２年７月２０日

鳳珠郡能登町字柳田イ部３番地
（ＴＥＬ　０７６８－７６－１２１１）
能登青翔高校編集委員会

校　長　　高　野　　勉

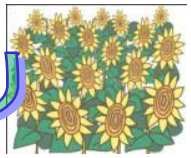
進路選択

もうすぐ夏休みに入りますが、夏休み明けの９月から本格的に進学するか就職するかを決める重要な時期を迎えます。今年度の進路行事では、先月２４日に外部の業者を通して短大・専門学校の関係者を招いての進路ガイダンスを実施しました。進学希望者は希望する学校からの具体的な説明を受け、就職する生徒は就職する心構えや面接指導のアドバイスをいただきました。説明を聞いて、自分の進路が固まったでしょうか。更に、今月７日には先生２人が面接官になり４会場で校内模擬面接を実施しました。質問されたことに対して的確に答えられたでしょうか。実際の就職試験では、誰もが緊張した中で質問の意味をしっかり把握して答えることになります。

現在の進路希望は進学が１０名、就職が８名です。進学は経済と栄養系の大学または短大、専門学校は看護・理美容・調理・自動車・コンピューター等を希望しています。進学する生徒は２～４年後に学んだことを生かして就職を決めることになるので自分の興味や適性を十分考えて学校を選ばなければなりません。経費は初年度納入金が 100 万円から 130 万円と高額で保護者の負担も大きいので家庭でしっかり話し合って下さい。尚、進路先が具体的に決まったら一度、足を運んで自分の目で確かめることも重要です。一方、就職する生徒は現在の雇用状況は昨年に引き続いて大変厳しい状況です。大学生でも納得いく就職先が決まらず、いわゆる就職浪人が何万人もいると報じられています。言うまでもなく、誰もが生きていくために仕事をし、お金を稼がなければなりません。その仕事を通して社会に係わり、自分自身の生き甲斐を見つけ、人間的に成長することが理想です。世の中には、何千・何万という仕事があるそうですが、その中から自分に適している仕事ややりたい仕事を一つ選ぶとなると大変です。学問、芸術、芸能、スポーツなどで秀でた特殊な才能があり、自分の趣味や好きなことを職業として選択できる人は一握りに限られます。通常は、学校に来ている求人票や地域のハローワーク、縁故関係を通して仕事を選ぶことになります。以前の日本が好景気で、求人票が県内外から沢山来た古き良き時代と異なり、現在は経済状況が大変厳しい中で仕事を選んでいかなければなりません。

ところで、９月に外部の有識者にお願いして模擬面接を予定しています。最後の本番のつもりで準備して欲しいと思っています。これまでも面接についてはいろいろ聞いていると思います。面接の際の礼儀作法や身だしなみは言うまでもなく、受け答えがしっかりできるかどうかに係っています。まとまった意見をきちんと述べることが重要で、このやりとりで人物が判断されます。仕事に対する熱意・やる気をどう伝えるかコミュニケーション能力が問われます。予想される質問に対する自分の考えをまとめておき、自分の言葉で話すことが肝要です。今月２１日には保護者懇談会、三者面談（保護者・生徒・担任）が計画されています。そこで自分の考えていることを話し、よく相談して下さい。この夏休みは、将来の自分の進路を真剣に考える最後のチャンスでもあります。担任や進路・就職支援員の先生、保護者とよく相談して最後には自分で決めることが大切です。なぜなら仕事をするのは自分自身であり、どんな仕事を選択しても一人前になるには様々な困難な事柄が待ち受けているからです。それを乗り越えるには、誰かの責任にするのではなく、あくまで自分が決断することが極めて重要です。

学年便り



３年２組　担任　冨　田　弘　之

進路決定へのステップを始めた3年生

外部の方を本校に招いて説明を受ける「進路ガイダンス」（６月２４日）、本校職員が面接官となって行う「校内模擬面接」（７月７日）、希望者が金沢の県産業展示館に出向いて各分野の企業の方から求人状況や現場の様子を聴く「企業ガイダンス」（７月１０日）など進路関係の取り組みが次々と開催され、いよいよ各生徒の進路希望実現のための動きが本格化してきました。入学当時のデータでは就職希望が７８％でしたが、昨今の厳しい就職戦線の状況を反映してか、３年生になってからの進路希望調査では就職志望と進学志望の割合がほぼ半々になっています。間もなく夏休みに入りますが、自分の一生を左右する進路決定に向けて自己を高める有効な機会として利用し、９月にはひとまわり成長した状態で秋からの追い込みにチャレンジしていって欲しいと願っています。

柳田フラワーロード計画

ボランティア活動の指定校として昨年度取り組んだ活動を継承し、今年も５月下旬から本校生徒が学校の温室で作った苗をプランターに植え、７月に入って柳田地区の各所に設置して通行人の目を和ませる活動に取り組みました。今年度は５０

個のサルビアのプランターを郵便局、開発センター、体育館、福祉施設、そして交通安全指導で立ち番をする場所に設置させてもらいました。それぞれの場所でお礼の言葉をいただき、配布に廻った生徒会を中心とした担当の生徒は、充分に意義を感じていました。尚、この様子は新聞にも掲載され、また柳田有線放送でテレビ放映もしていただき、幅広く本校からのメッセージが発信された行事となりました。

寮より

寮舎監長　　坪　野　弘　文

6月21日(月)に第1回避難訓練と6月の誕生会が行われました

４時３０分から能登消防署の方に来ていただき、男子寮３階の乾燥器から出火したという想定で、全員玄関前まで、非常階段を使って避難しました。数分で全員避難できましたが、消防の方からは「昨年より遅い、話しながら移動している」と厳しい評価でした。後期にも実施しますが、指摘されたことを改善できるように取り組みたいと思います。

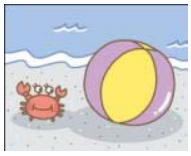
この日の夕食時に６月の誕生会を行いました。誕生者は１名でしたが、校長、舎監、寮長から誕生者に向けて挨拶がありました。

7月6日(火)には、今年度1回目の寮球技大会が行われました

実行委員と３年生が中心となって企画し、種目はバトミントンダブルスで、１４チームが４つに分かれて予選リーグを行い、上位２チームによる決勝トーナメントと敗者トーナメントを行いました。優勝は２年角田と３年大根谷ペア、準優勝は３年倉知と１年紺谷ペアでした。

総務課　　高　橋　志　未

行事報告と行事予定



６月の行事報告

２日(水)	いじめアンケート
３日(木) ～６日(日)	石川県高校総体
９日(水)	体育祭（水族館＋ボーリング）
１２日(土)	学校開放講座③
１５日(火) ～１７日(木)	前期中間考査
１９日(土)	学校開放講座④（閉講式） 北信越総体（～２０日）
２０日(日)	全商珠算電卓実務検定
２１日(月)	（寮）避難訓練、大掃除、誕生会
２２日(火)	高文連文化教室 自転車マナー県下一斉指導
２３日(水)	校内意見発表・プロジェクト発表会
２４日(木)	進路ガイダンス
２５日(金)	服装検査②、普通救命講習（午前）
２８日(月)	薬物乱用防止教室

夏期休業中の行事予定

８月３日（火）	第１回登校日
８月４日（水） ～５日（木）	農業クラブ北信越ブロック大会 中田菜穂美（３１Ｈ）参加
８月１８日（水）	第６回農業クラブ県連大会 （技術競技） 池田敬太・中田菜穂美・濱野七彩 （以上３１Ｈ）参加
８月２３日（月）	第２回登校日

７月２２日～（木）～８月２５日（木）（うち１０日間）
施設現場実習（介護福祉系列の女子４名）

バス遠足(水族館＆ボーリング)

生徒会　　府玻　美智子

今年度３年生が１８名と少なく、体育祭等の学校行事も行えないこともあり、６月９日(水)午前中、能登島臨海公園水族館でイルカショーを見学しました。サッカーのワールドカップを目前に控えていた時期だったのでイルカのサッカーでした。大きなジャンプを見せてくれたりボールを上手にキャッチする姿に生徒の間から歓声と拍手があがりました。またペンギンに触れたり、海に生活する生き物を見たりとゆっくり館内を散策しました。午後は鹿島のクワトロブームでボーリング大会を開催しました。始めてボーリングをする生徒はガータが続いて意気消沈、家族や友人と楽しんだことのある生徒はストライクやスペアを取ってガッツポーズ。それぞれのレーンで明るい笑い声や、励ましの声が飛びかった大会になりました。生徒たちにとって楽しい思い出の残る一日となりました。

保健厚生課　　養護教諭　小西みえ子

夏を元気に過ごしましょう！麻しん風しん予防接種

これから長い夏休みに入ります。大方の人が普段の生活よりだらだらしてしまいがちです。今度の夏は高校生最後の夏休みとなります。どう過ごすか、しっかり目標を立てて毎日を有意義に送ってください。

・早寝早起き（だらだらしない生活）
・しっかり三食とる

麻しん風しん予防接種は済ませましたか？
まだ済ませていない人は夏休みを利用して必ず済ませるようにしてください。麻しん風しん予防接種についてよくわからない人は保健室まで連絡してください。

・体を動かす
・病気の治療をする（虫歯や歯周病・視力等）

進路課　　落　合　明　夫

進路からのお知らせ

○就職希望者へ

（１）７月１日より企業からの求人票が届いています。随時見てください。
※直接、本校に求人票が届いていなくても、金沢や輪島などの職業安定所が受け付けた一覧表が学校に配布されます。この中に希望企業があれば電話で出願できるか否かを問い合わせることができます。

（２）出願などの手続き

出願書類発送
９月５日～
→
採用試験開始
９月16日以降
→ **内定**
→ **不採用** → **再度さがす**

○求人票から希望企業をさがす。
○８月中に決めて、履歴書を準備する。
○出願書類は、以下の書類である。
調査書（担任が作成）・履歴書（生徒自身で記載）

*企業の多くは、**会社見学**を実施しています。希望者は連絡してください。*
企業にコンタクトをとります。

（３）労働市場は、いわゆる買い手市場となっています。自分を売り込む手立てを考えた言動に心がけましょう。（面接のシュミレーションをしよう）

○進学希望者へ

（１）基礎力の向上に努めること。数学や国語、英語などは進学後に大切になってきます。
（２）多くの学校（大学や専門学校）は***オープンキャンパス***を実施しています。希望の学校を実際に見ておくことは、進路決定の確信につながります。
（３）学習面での相談はいつでも申し出下さい。

検定合格者

教務課　　大　隅　博　幸

電卓計算能力　１級　（５月１５日実施　社団法人　全国経理教育協会）

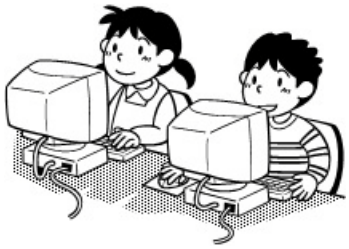
池田　　中田

珠算・電卓実務検定試験　電卓１級　（６月２０日実施　全国商業高等学校協会）

池田　　中田　　濱野

ワープロ実務検定試験　第２級　（７月４日実施　全国商業高等学校協会）

濱野　　松尾



ワープロ実務検定試験　第４級　（７月４日実施　全国商業高等学校協会）

中山

農業クラブ県連大会

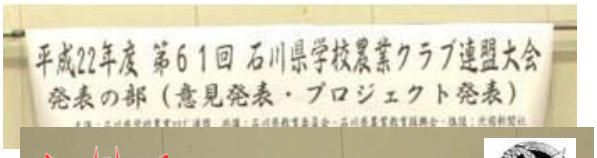
農業クラブ県連大会

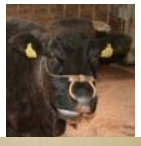
生徒会　　大　隅　博　幸

今年度の第６１回石川県学校農業クラブ連盟大会（各種発表の部）は７月９日、本校を会場として行われました。県内４校より意見発表が１２名、プロジェクト発表が５組２７名の出場でした。また、県連事務局（翠星高校）より１６名のクラブ員が大会運営にあたりました。

本校からは意見発表の食料・生産区分（出場者５名）に生産科学科３年生の中田菜穂美さんが７分間の制限時間の中で、２年次に畜産の授業で体験・感じたこと、今後の進路や将来の夢について発表しました。発表は校内大会後における練習の成果が顕著に表れており、たいへん素晴らしいものでした。成績と発表の様子・発表題名は下記のとおりです。

意見発表　区分　食料・生産　最優秀
「牛とのふれあいで学んだこと」　生産科学科３年　中田菜穂美（なかだなおみ）さん





写真左上　全体をとおして２番目の発表
原稿を見ることなく、最後まで聴衆者に向かって堂々と発表

写真左下　食料・生産区分の最優秀に選ばれ、成人役員代表より賞状・トロフィー・盾を受け取る

写真右上　意見発表で入賞されたクラブ員の皆さん
（左端が中田菜穂美さん）
＝能登青翔高校　第１体館

８月４・５日の北信越ブロック大会（新潟県）には石川県の代表として発表することになります。

後列中央（本人）
＝北國新聞
７月１０日
掲載記事

農業クラブ員
研究成果発表
能登青翔高で大会

第61回県学校農業クラブ連盟大会（本社後援）は9日、能登青翔高で開かれ、県内4高校の農業クラブ員が意見発表とプロジェクト発表の2部門で、研究成果を披露した。次の最優秀賞受賞者、グループは8月に新潟県で開催される北信越ブロック大会に出場する。

最優秀賞受賞の皆さん

◇意見発表▽食料・生産　中田菜穂美（能登青翔3年）「牛とのふれあいで学んだこと」▽環境　三島誠司（翠星3年）「環境にやさしい土建家をめざして」▽文化・生活　西菜美（同3年）「郷土料理に魅せられて」◇プロジェクト発表▽食料・生産　翠星「翠星米粉クッキープロジェクト～広がれ！新しい食の可能性～」▽環境　七尾東雲地域と結ぶ東雲の森・環境保護プロジェクト～能登の森から広がるグリーンウェーブ～」▽文化・生活　津幡「ふるさと石川の〝朱鷺の里〟づくり～22日は『トキの日』を合い言葉に、トキへの関心を高めたい～」

学校開放講座について

総務課　　平　田　朋　彦

平成２２年度　県立学校開放講座は、『豊かな農村生活・パート３』として、5/15, 5/29, 6/12, 6/19（いずれも土曜日）の４日間にわたり実施されました。受講者は２０人（男２名、女１８名）で、本校農業科の職員が講師となり、園芸管理棟や食品実習棟、機械格納倉庫、視聴覚教室で講義や実習を行いました。講義の内容は、第１回「草花のプランター作り」（講師：堀田秀男）、第２回「刈り払い機の修理」（講師：大隅博幸）、第３回「ロールケーキ作り」（講師；竹中直樹）、第４回「押し花作り」（講師：作井吉幸）で、初日には開校式、最終日には閉講式も行われました。受講者の方からは以下のような感想が寄せられました。

・花が好きなので、ちょっとした事でためになります。今後野菜等も美味しい物（甘味の強い物）を作るにはどうすればよいかとか、花木の剪定等を教えて欲しい。
・地域の草花（ささゆり、その他）、川魚（メダカ、その他）などの増やし方や身近にふれあうことのできる場所作りなどを教えて欲しい。
・若い時、仕事や家事に追われてできなかったので機会があったらまた参加したい。
・今まで受講したものも良かったが、今後パソコン講座等があればいいと思います。
・野菜作りをして欲しいです。
・①かんたんなガーデニング、庭づくり。②園芸③畑作り等、講座を受講したいです。押し花作りは簡単に出来てよかったです。
・今後自分のために活かしたい。植物観察コースやバイオマスエコツアーがあればいい。

「押し花づくり」を担当して（感想）　　教頭　作井　吉幸

全体で４回の開放講座の最終回で、「押し花づくり」を担当しました。授業の合い間や放課後、休日を利用して、まず講座で使う押し花教材作りから取組みました。最初は 20 人分ぐらいの量なら少し頑張ればと軽く考えていましたが、いざ始めるとなかなか・・・。のとキリシマの花弁が自分の思う色にならない、同じ押し花材料を十分準備できない、思うようなテキストが作れない、のないないづくしでしたが、6 月 18 日ようやくギリギリに間に合わせて実行できました。

講座内容は①おもに新聞紙を使って簡単に作る実技と②デザインの仕方、出来上った押し花をどのように台紙に固定するかの講義でした。

花は栽培するだけでなく、身の回りにある多種多様な草（花）を使って押し花を作る事（作る工程、押し花デザインの構想、できあがった作品を飾るなど）そのものが豊かな生活であるとの考えから皆さんに紹介しました。

花というものは、人の迷惑にならない大変ありがたいものです。拙い講座でありましたが、農村生活を楽しむきっかけや糸口になればと願っています。

こだわりのクッキー作り　　竹中　直樹

第３回目の講座ではアイスボックスクッキーの製造を実施しました。当初の予定ではロールケーキの製造でしたが予算の都合で変更になりました。受講者の皆さんは毎年のように受けられている方も多く和やかな雰囲気で講座に取り組んでいました。当日は気温が高い為か作業がしにくく悪戦苦闘された方もいましたが、なんとか焼成でき皆さんに持ち帰ってもらう事ができました。休憩時間には事前に作ってあったヨーグルトと酸乳飲料で
楽しく過ごされたようでした。青翔高校としてはこれが最後の開放講座になるとは思いますが、また機会があれば楽しそうな講座を考えてみたいと思います。